

近畿本部 情報工学部会 9 月度例会の案内

◇日時：2018年9月15日(土)13時～17時

◇場所：四ツ橋セントラルビル504号会議室

大阪市西区新町1丁目3番12号

(地下鉄四ツ橋下車1A出口から四ツ橋筋を北へ約1分, 東側ビル6階)

◇会費：日本技術士会会員(1000円), 未入会者(2000円), 学生(無料)

<プログラム>

1. 運営(幹事)会 13:00～13:40

◇本年度幹事(敬称略、順不同)

天野、加賀谷、鍛冶、川本、佐藤(力)、隅田(清)、野原、東山、柏原、北村、本多、榊一、山口

2. 講演 14:00～15:15 東山 幸平 技術士

『地理空間情報とコンピュータと私』

(概要) この40年間に測量技術は、どの産業界と比べても、突出した技術革新を遂げた。平成7年の阪神淡路大震災を機会に地理情報システム(GIS)の技術が注目され、平成19年に制定された。

地理空間情報活用推進基本法は、衛星測位・基盤地図情報・情報地理情報システムの技術を3本柱とした地理空間情報の活用推進を掲げている。測量の進化は近年急速に発達したコンピュータの力に頼るところが大きい。昭和63年より測量業界で勤務し、平成の30年間、その技術革新を見てきた講演者が、その実体験を語る。

3. 講演 15:25～16:40 北村 友博 技術士

『技術経営概論(島津製作所様用)』

(概要) 本講演は本年4月、近畿本部協賛団体強化委員会主催で行った「出前講座」の内容です。技術・生産コンサルタントの経験から、製造業におけるMOTの重要性についてお話しします。MOTは単なる学術資格や、概念の曖昧な技術経営論ではなく、企業成長のための重要な経営戦略と捉えます。それにはマーケティングの考え方を融合することがポイントだ、というのが講師の主張です。街のコンサルタントの独断と偏見に満ちた内容です。予めお詫びしておきます。

4. 16:40～ 連絡事項

5. 17:00～ 懇親会

会場：「いつもの処」大阪市西区新町1-8-22

(お店の準備の都合がありますので、事前に伝助にて出欠を登録して下さい)



10月例会は10月13日予定です。